

ゆざわまち

あなたと議会を結ぶ架け橋

平成30年
第129号

3月議会

4月29日発行

議会だより

3月定例会 3月6日～22日

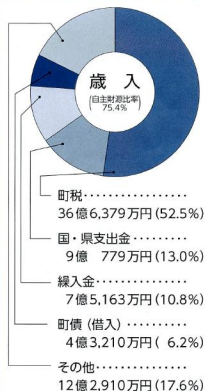
国土交通省との人事交流で新副町長決まる
一般会計当初予算減額修正を可決



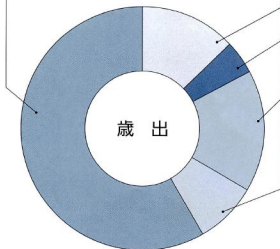
平成30年度

一般会計予算

総額69億8,441万円



人件費…………… 9億1,498万円 (13.1%)
 公債費(返済) …… 2億9,828万円 (4.3%)
 6会計へ支出 …… 11億3,772万円 (16.3%)
 南魚沼市へ支出… 5億7,158万円 (8.2%)
 その他…………… 40億6,185万円 (58.2%)



主な事業等

- ◇企業誘致 …………… 439万円
- ◇有害鳥獣による農作物等被害防止対策 …………… 538万円
- ◇湯沢西部地区街なみ環境整備事業 …………… 1億1,762万円
- ◇消雪パイプリフレッシュ事業… 7,000万円
- ◇歴史民俗資料館「雪国館」運営… 1,216万円
- ◇国土調査事業 …………… 4,194万円
- ◇新幹線通勤補助 …………… 360万円
- ◇湯沢町観光協会補助金 (フジロック20周年事業含む) … 8,950万円

減額修正の3事業

- ◇フットサルコートナイター照明装置 …………… 2,500万円
- ◇東口駅前広場花壇改修(時計台・花壇撤去) …………… 2,500万円
- ◇緊急告知ラジオ購入・配布 …… 2,559万円

他会計への支出

- 国民健康保険 …………… 9,429万円
- 後期高齢者医療 …………… 2,390万円
- 介護保険 …………… 1億4,978万円
- 下水道 …………… 6億1,000万円
- 水道事業 …………… 771万円
- 病院事業 …………… 2億5,205万円

基金残高(29年度見込み)

- (一般会計)計 …………… 9億4,279万円
- (特別会計)計 …………… 2億4,805万円

地方債残高(29年度見込み)

- 一般会計 …………… 41億8,720万円
- 下水道特別会計 …………… 37億7,360万円
- 水道事業会計 …………… 5億7,749万円
- 病院事業会計 …………… 2億5,972万円

やすらぎ荘解体

3,027万円



都市公園トイレ改築

3,600万円



魚野川右岸遊歩道整備

2,078万円



カルチャーセンターレジャープール(施設改修)

4,400万円



橋梁、トンネル修繕(堤平橋修繕、奥清瀬トンネル)

2億6,300万円



湯沢高原ロープウェイ関連施設整備

1億7,031万円



湯沢西地区街なみ環境整備事業

1億1,762万円



大相撲夏巡業「雪国湯沢場所」開催補助金

500万円



町長の施政方針に対する代表質問

※町長施政方針は町広報3月25日号をご覧ください。

教 文 務 総 任 委 員 会



代表質問者
高橋 五輪夫

質問 「新潟県が苗場スキー場への誘致を目指す」2020年男子W杯アルペンスキー大会は、この開催が決定次第、町としてできることを検討し、支援してまいりますとあるが、今現在どのような支援を考えているのか。

答弁 県は当初予算にW杯の効果を測定する調査費用を計上している。
現時点では県から依頼はきていないが、正式に依頼がきたら検討していく。

質問 「事業継承が困難となっている事業者を新規参入希望者とマッチングさせ、事業を継承を図る仕組みを湯沢町商工会などと連携して構築する」とは、具体的どのような仕組みで進めていく考えなのか伺う。
今後、商工会と連携して考えていくのか、現時点では申し上げられません。

質問 湯沢町でも労働者不足が深刻化するなか、旧ノリタ光学跡地への企業誘致については、どのような業種の企業を想定しているのか。

答弁 様々なところから動く場が欲しいという声を聞いている。
ダイレクトメールやテレホンマーケティングなどを使い、特定の業種に絞らず誘致していきたい。



ノリタ光学跡地

質問 防災ラジオの難聴地域はどのくらいあるのか。

また防災ラジオを配布するところがあるが、マンションを含め、どこまで考えているのか。ラジオの故障や更新時の対応等はどういうに考えているのか。

答弁 難聴地域を解消する事業は終了した。配布方法や維持管理方法は今後検討していく。

産 業 建 設 常 任 委 員 会



代表質問者
田村 計久

質問 労働力不足の対応と強固な産業基盤の確立とはどのようなことを考えているのか。

答弁 数年外国人の受入れ研究している。Uターン、移住、若者呼び込み人材確保に努める。

質問 違法民泊などの監視を強化するとは具体的に何をするのか。

答弁 県、消防と協力し情報収集することも、町内会長会議で情報提供をお願いする。

質問 フジロックフェスティバル湯沢開催20周年記念事業、町の支援はなにか。

答弁 町で「鼓舞」のステージを提供、他大人のサーカスに補助金で支援する。



フジロック20周年特別講演に補助

質問 三保地域にぎわい創出支援事業、三保景観整備事業をどのように捉えている

生活福祉
常任委員会代表質問者
高橋 政喜

質問 湯沢町の高齢化率や一人暮らしの高齢者増加の状況について、どのような認識か。

答弁 高齢化率は年々上昇し、高齢者のみの世帯も増加、支援となる高齢者も増加することが危惧される。

人手不足のために元気な高齢者が支援側にたつて、自身の生きがいと介護予防につなげボランティア組織の拡充、シルバー人材センター、老人クラブへの支援等を行う。

質問 高齢者の交通手段対策に福祉バスを見直し、路線バス活用方式への転換を検討し、高齢者や障がい者の移動に対する支援をどう考えているか。

答弁 自力で乗降できる高齢者、障がい者を対象に路線バスを活用した方式への転換を検討。一方で要介護支援の認定を受け、自力での乗降が困難な方は介護予防日常生活事業を活用し、道路運送法の許可不用の調査研究中。

質問 こころの健康づくりについて、地域とさえ合いネットワーク検討会、湯沢版

「自殺対策計画」とはどんな内容か。

答弁 地域とさえ合いネットワーク検討会は、健康づくりの一つで、臨床心理士を招き保健師、職員全員を対象に研修会を行っている。湯沢版自殺対策計画は、平成30年度内に策定する。自殺対策は、地域とさえ合いの決りつながら、全町体制で取りくむ。

質問 障がい者グループホームの設置に向けて取り組む、具体的には何を行うか。豪雪地帯の実情に応じて高床住宅でもできるよう施設基準見直しを県、国に要望する。空き家物件がないか調査する。

答弁 マインパークカードの、証明書のコンビニ交付の活用を考えはないか。行政サービスの電子化に伴い、費用等総合的に検討し導入も考えている。



路線バス活用を検討している福祉バス

か。

答弁 通年観光を目指しアウトドアの基地として講座やキャンプ体験などのイベントを県、町が支援し、自然と調和のとれた統一性があり落ち着いた歴史の町並み空間整備をする。

質問 魚野川右岸の景観整備の遊歩道の設置と川遊び事故防止対策の取組は。

答弁 自然に配慮し遊歩道を設置する。トイは夏季のみの使用。事故対策は注意喚起の看板、ロープの設置など関係機関と対策を確認する。

質問 地域おこし協力隊の配置と募集の人数、業務の取り組は。

答弁 募集は観光工関係で5名、農林関係で3名だが思うように集まらない。

質問 インバウンド誘致事業で町観と雪国観光の誘致事業は整合性がとれているのか。

答弁 雪国観光圏は広域周遊観光、町観光協会は単独で湯沢のリゾート、それぞれ観光戦略に違いがあり効果的に展開すると思う。

質問 都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定はどのように進めるのか。

答弁 マスタープランは30年町民アンケートを実施、31年目標値設定、原案の作成、立地適正化計画は30年将来目標の設定、全体構想の検討、31年素案を作成する。

平成
30
年度

一般会計当初予算審査

特別委員会審査報告

3月14日(水)～16日(金)

委員長
角谷 勉

総務部

Q ラジオは何台購入予定か。

A 3,000台分の予算。

Q 神立高原関係の裁判経過は。

A これまでに4回の口頭弁論終了。裁判所が書面による事実確認中。第5回目の口頭弁論の準備中。

Q 新幹線通勤生活体験対象者等は。

A 首都圏在住、20～40代の夫婦。抽選で1世帯。他の応募者は移住アンケート調査を行う。宿泊先等の詳細は検討。

Q 新幹線通勤補助は町民から異論もあるか。

A 制度設計の段階では、住宅を湯沢町での取得前提。経済効果を考慮し、町民の流出対策にも取り組む。

産業観光部

Q 大会誘致などフットサルコート活用の見込みは。

A 観光協会のパンフレットで紹介関係団体への訪問や、大手スポーツ用品店がスポンサーとなる大会の誘致を行ったが成果は得られなかった。

Q 観光協会の補助金増額、フジロック20周年記念事業の経緯は。

A 主催者と地域、観光協会等で検討。観光協会の事業で「鼓童」の公演と「サーカス」の誘致をおこなう。

Q コスモスマラソン予算の増額は、大会の評価は高い。同時期に他の大会も開催され参加者の増加見込みが困難で補助金の増額が必要。

健康福祉部

Q 湯沢病院の24時間365日の診療維持経費は。

A 指定管理者に経営健全化交付金1億1,000万円を支出。町民のかりつけ医を維持する。不採算部門の繰出金は病院事業会計に留保。

健康福祉部

介護保健特別会計

Q 居宅介護住宅改修費は、何件か。予算では年間24件。

Q 認知症地域支援推進員の人数と活動内容は。

A 推進員は保健師3名、ケアマネ1名、看護師1名の計5名。介護者の集いの活動実施。

とは。

A 新潟県文化振興財団が行う事業を湯沢町に誘致し、落語についての解説や講演を行う。10月20日に湯沢町公民館で開催予定。

Q 児童クラブの利用者数が増えているが、今後の対応は。

A 平成29年度補正予算で人数の増加に対応するための改修を行った。長期休暇時の人数が増えているため、夏休み期間の図書室一開放をやめて対応する。予算が必要となった場合にはその時点で補正する。

地域整備部

Q 駅西口に整備する足湯の温泉使用料が都市計画総務費に計上されている。足湯は通年使用か。また、設置後はどのような管理を行うのか。

A 足湯は、秋ごろの完成を予定している。管理と検討はこれからだが、冬期間の利用は想定していない。

Q 都市公園のトイレ改築について、どこにどのようなトイレを整備するのか。冬期間に観光客等が利用することもできるか。

A 神立、原新田、駅前、奈良山、地藏堂公園のトイレが老朽し、雨漏り等が生じている。国の交付金が平成30年度で終了となるため、改築しバリアフリー化した。遊樂場所に

指定されている公園だが、冬期間の利用は想定していない。観光客の利用は産業観光部と協議する。

東口駅前広場の花壇改修は、どのような改修を計画しているのか。

堆雪場所ともなっているため、管理しやすいよう時計台を撤去する。該当する制度がないため単独費での改修となり予算は2,500万円を予定している。

フットサルコートのナイター照明設置は、スポーツ振興くじ助成金が交付されなかった場合は単独費で事業を実施するのか。

スポーツ振興くじ助成金については、ナイター照明の設置とバスケットゴールの購入費について申請している。助成が受けられなければ事業は行わない。

フットサルコートについて、利用の見込みや今後の計画はあるか。

テニスコートの改修にあたり、観光協会へのアンケートを行い整備した経緯がある。今後の利用については引き続き指定管理者と協議していく。

店舗等修繕整備補助金は、どこまでが補助金の対象となるのか。

店舗1階部分の改修が対象。上限50万円の補助を予定している。

駅西口に足湯が必要か。足湯設置

置は地元からも要望されていたのか。

駅から温泉通りへ人の流れを誘導するためのツールとして、地域からの意見も踏まえて足湯の設置を決定した。

西口の駅前広場は広さが足りない状態だ。新たな施設を作るよりも限られた面積を有効活用する方を検討するべきではないか。

限られた面積の中で駐車車両の停滞が生じないように改修することを検討している。

東口駅前広場の全体的な改修計画等はあるのか。

詳細の設計を行っている。内容が決まり次第、関係する町内会等にも周知する。

税務町民部

未納額が年々減少している要因は、不能欠損ほどの程度あるのか。予算規模に対する未納額の割合は他団体と比較してどのような状況か。

リゾートマンションが出来たころから滞納が増え、大口の滞納者もあるため他団体と比較して滞納額の割合は高いが、徴収に配慮した人員配置や徴収機構により県と協力して滞納対策にあたっているため滞納額の減少に繋がっている。

欠損額は平成26年度5,600万円

円、平成27年度5,800万円、平成28年度5,900万円。不能欠損は、滞納処分により滞納者の実態調査等を行い、資力を判断している。

税務町民部

国民健康保険特別会計

保険税の収納率を92%と見込んでいるが、県の基準では被保険者数により率が異なるのではないか。

県が納付金を算定する際、湯沢町での収納率は92%が適用される。平成28年度の決算では94%を上回っているため、92%を見込んだ予算で問題は無い。

町長への

総括質疑

施政方針で、未来の世代のための長期的視点でまちづくりを行うとしている。健全な財政状況を維持しているが、予算は大幅に拡大している。どのような考えでの予算編成か。

町の現状と先行きをふまえた中で、総合計画や総合戦略に基づいた予算編成。ふるさと納税も増加、検討してきた事業についての協議がまとまり国・県等の補助が見込める状況となり予算計上したのもや、安心安全のための事業など今やらなければならぬ事業の積み上げが今回の予算案である。10年先、20年先の湯沢町にとってプラスになる事業。

町の財政状況については、各種指標推移の考慮も大事。基金残高減少のなかで予算規模が拡大、今後の財政状況についての考えは。

健全な財政状況を維持していくことの重要性は十分に認識している。新たな財源の確保を検討のなかで、ふるさと納税は大幅に増加。安心安全のための事業やこれまでも計画的に事業を進めてきたなかで予算計上が必要となったものなどについて、十分考慮して予算編成をした。

裁決結果

反対 並木・高橋(政)・高橋(五)・田村・佐藤

賛成 岸野・関・白井・宮田 節田

可否同数により
委員長裁決で否決

平成30年度

一般会計当初予算 本会議採決 3月22日

3事業削減の修正案を可決〈7,559万円減額〉

●提案理由（抜粋）

今後、町の観光施設等の施設維持などが膨らむと予想されるなか、人口減少と高齢化、税収減少に対する決定的な打開策はない。

財政力のあるうちに将来への備えとして、優先順位が低いと思われる以下の3事業について、町民の声を確認し次年度以降の課題とするために、予算の削除を提案する。

①フットサルコートナイター照明装置（2,500万円）

・必要性が明確でなく営業・収支計画も策定されていない。費用対効果が不明確であり、広く町民の意見を聞き、次年度以降にすべきと考える。

②東口駅前広場花壇改修（時計台・花壇撤去）（2,500万円）

・修繕の必要性は理解できるが、単独費で実施するには高額であり唐突な計画である。

新潟県やJRとも協議し、東口のバリアフリー化を含めた駅前広場の整備計画を立てたなかで行うべきである。

③緊急告知ラジオ購入・配布（2,559万円）

・広く町民の意見を聞き、まずは配布計画を立てるべきと考える。発議者／高橋五輪夫

賛成者／並木利彦・高橋政喜・角谷 勉・田村計久

●討論 修正案反対 岸野雅人・関 忠夫

修正案賛成 並木利彦・佐藤守正・角谷 勉

●採決 修正案賛成

並木・高橋（政）・高橋（五）・角谷・田村・佐藤

修正案反対 岸野・関・白井・宮田・師田

●修正案可決後、修正部分を除く原案の採決

賛成全員

修正案反対・原案賛成

財政を考えれば、借債や助成金は有効です。湯沢の駅前広場は、広域の玄関口。応急工事以外は、全体計画が先で然るべき。防災ラジオの全戸配付、今年でいけな理由はありません。フットサルの照明、必要ないように思いました。がしかし、1010への申請に、私は反対しません。町がやっパリ要りません。なって、言えませんが、対外的な信用など総合的に考慮し、原案に賛成（修正案に反対）します。

関 忠夫

若者呼び込み観光業や建設業などを中心に強固な産業基盤を確立し、その財政力を持って福祉をはじめとする住民サービスを充実させ、社会保障や防災力などの強化を図り誰も安心して訪れ、住むことが出来る町をつくることです。と施政方針で述べています。

財政についてもふるさと納税額が4億円等、また国、県の交付金の配布等があり町のインフラ整備、安全・安心の町作りなど進めていく事。

並木利彦

討×論

今、湯沢町に必要な政策は、人口維持と外資を招く政策。湯沢町に建設される観光施設に外資を招くことが必須条件。町長の任期4年の、確固たる短期政策は進べられていなかった。今予算の他、豊田美術館建設、湯沢学園殊土処理、オリンピックに向けてインバウンド誘客事業、スポーツ公園各施設補修改修は、4年の中でしなければならぬ事業である。どれも多額の資金を必要とする。優先順位を考えて頂きたい。

一財政力に余裕があるうちに将来に備えておくべきという考え方に賛同して修正案には反対するが、民生費が削り扱われているという点で予算原案には不満がある。地方公共団体の存在理由は住民福祉を増進することにあるので、予算の最大の支出項目は民生費でなければならない。老人・児童・障害者福祉、医療や低所得者への配慮などにもっと手厚く予算を割くべきだと主張したい。

佐藤守正

町の調査ではこの10年間で市町村の貯金は2兆6,245億円増加し、増加率は78.6%。

当町は19億円増だが8億8,300万円、10億1,700万円の減少。他市町村は公共施設の老朽化対策で貯金を増加。

町の計画では今後40年間の公共施設の更新等費用推定額は814億円。年平均20億6,000万円の予測。近年実績の7億6,000万円の約2.7倍。職員意識啓発等により費用の抑制が必要としている。情報を町民と共有し将来の財政需要に備えるべきと考ええる。

修正案賛成・原案賛成

3月6日

一般会計補正予算
特別委員会を開催
委員長 白井孝雄2補正で4億2,018万円増額
総額 70億1,657万円

第8号

7,416万円減額 特別委員会可決

歳入（収入）の主な増減

土木費国庫補助金	3,970万円減
湯沢こころのふるさと基金	
.....	4,000万円増
財政調整基金（貯金から）	
.....	4,964万円減
町債（借金）	2,500万円減

歳出（支出）の主な増減

職員給	2,300万円減
湯沢こころのふるさと基金	
.....	4,000万円増
フットサルコートナイター照明	
.....	2,709万円減
民間特定建築物耐震改修補助金	
.....	2,000万円減

第7号
町長専決

3億4,601万円増額 本会議承認

歳入（収入）の主な増減

土木費国庫補助金	
消雪パイプフレッシュ事業	
.....	4,057万円増
舗装修繕事業	5,227万円増
財政調整基金（貯金から）	
.....	1億7,636万円増
町債（借金）	6,970万円増

歳出（支出）の主な増減

除雪対策費	1億3,200万円増
道路橋梁新設改良費	
.....	1億9,100万円増
地籍調査費	752万円増
公民館非常用発電機入替	750万円

主
な
質
疑

- ① フィッシングパークトイレ建て替え事業について、浄化槽が設置されていると思うが、分譲地から松川まで下水道の計画はないのか。
- ② 松川中子川原線の分譲地から松川方面への下水道の予定はない。
- ③ 人件費の補正はシステムバグが原因とのことだが、施設方針演説での情報システムの件と関連はあるのか。今後は問題ないのか。
- ④ 施設方針で述べた情報システムとは関係ない。給与システムに問題があったためであり今後も補正が必要となる可能性がある。
- ⑤ 湯沢学園の教室の外壁に樹脂製と思われる部分があるが、断熱に問題はないのか。
- ⑥ 教室が寒いという話は聞いていない。後ほど確認する。
- ⑦ フットサルコートのナイター照明設置については、交付金が付かなかつたため皆減とのことだが実施計画も行ってないのか。
- ⑧ 実施計画は行った。

開会中の常任委員会審査

総務文教常任委員会

3月7日(水) 委員長 岸野雅人

議案・給与条例の一部改正2案

人事院勧告や近隣の自治体に合わせ、町長などの非常勤特別職と、議会議員の期末手当が、ともに100分の5ヶ月分、上がります。

2案それぞれ **賛成全員**

↓(可決すべき)

議案・個人情報保護条例の一部改正

情報の定義と内容に関する改正。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・情報公開条例の一部改正

定義の明確化と具体的記述に関する改正。

賛成全員

↓(可決すべき)

陳情／核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出

賛成多数(4・1)

↓(採択すべき)

生活福祉常任委員会

3月7日(水) 委員長 宮田眞理子

議案・国民健康保険関連条例の一部

改正2案

保険者が新潟県になることによる

改正。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・介護保険条例の一部改正

第7期介護保険事業計画により、基準保険料月額が、5千円から5千200円に。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・居宅介護支援事業所の指定権限が県から町に移される2案

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・介護保険法等の一部を改正する法律等に関する関連条例の制定3案

賛成全員

↓(可決すべき)

障害福祉と介護保険が一体となる「共生型サービス」が創設されるための条例制定。

新たに創設される「介護医療院」を基準で定めるための条例制定。身体拘束の適正化。

指定特定相談事業者とは。

賛成全員

南魚沼ふれあい支援センター。

ケアプランで複数の事業者を紹介可能か。

賛成全員

紹介する。

賛成全員

サテライト、オペレーター、ユニットは湯沢にあるのか。

賛成全員

ユニットは石打の百花園。他はない。

賛成全員

「共生型…」とはどのようなものか。

今までは、65歳までの障がいサービス利用の方が介護を使う場合、一度出なければならなかった。それが解消された。

賛成全員

介護度が下がると出なければならぬか。

賛成全員

状況にもよるが、ないと思う。

3案それぞれ **賛成全員**

↓(可決すべき)

議案・平成29年度国民健康保険特別会計補正予算

2,544万円を減額。療養給付費が決定。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・平成29年度介護保険特別会計補正予算

201万円を追加。特別徴収と繰入金の場合。

賛成全員

↓(可決すべき)

陳情／障害者の暮らしの充実を求める意見書の提出

(意見書の文言を一部削除)

賛成全員

↓(可決すべき)

産業建設常任委員会

3月9日(金) 委員長 田村計久

議案・南魚沼市委託の事務の変更

しん処理センターが完成。民間処理へ。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・レジャープールの利用開始時期を6月から7月に

利用児童への対応は。

賛成全員

湯沢学園プールを利用します。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・道路占用料の条例の一部改正

電柱・電線などの基本料金の変更。

賛成全員

電柱利用者は、支線は。

賛成全員

東北電力、東京電力、NTTなど。支線も道路上なら対象。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・越後湯沢駅前広場条例の一部改正

バス・タクシー・占用料の値下げ。

賛成全員

利用の車両は何台か。

賛成全員

タクシー西9・東26台。東バス1台、路線バス2台は無償。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・平成29年度下水道特別会計補正予算

5,632万円を減額。建設費関連の事業見直しによる。

賛成全員

↓(可決すべき)

議案・平成29年度水道事業会計補正

予算

賛成全員

↓(可決すべき)

議 員 表 決 結 果 報 告

平成30年3月定例議会

・表決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決、採択等の場合；否＝賛成少数で否決、不採択等の場合）

☑…地方自治法117条の規定に基づき除却
(表決に参加できない)

・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○、反対＝×、欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	並木利彦	高橋政喜	岸野雅夫	角谷 勲	白井孝雄	関 忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	師田 保
		可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可
3月定例会	平成29年度一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町個人情報保護審査会委員の委嘱	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町情報公開審査会委員の委嘱	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南魚沼地域広域市町村圏構成市町の公の施設の相互利用に関する協議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町が南魚沼市に委託する事務の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の給与に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	湯沢町個人情報保護条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町情報公開条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町介護保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町手数料徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町都市公園条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町営住宅条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町道路占用料等徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	越後湯沢駅前広場条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産無償貸付契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地賃貸借契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度一般会計補正予算(第8号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度下水道特別会計補正予算(第5号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度水道事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出 平成30年度一般会計予算(修正案)	可	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	
平成30年度一般会計予算(修正案を除く原案)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度下水道特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度病院事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
副町長の選任	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
湯沢町職員旅費支給に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
普通財産貸付変更契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロープウェイ線路架設等による土地占用契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出	可	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
障害者の暮らしの場の充実を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書	可	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成29年度の議員の出勤簿を公開します

出勤簿の期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

議員名	本会議				常任委員会				議会運営委員会・特別委員会			
	出席 必要日 数	欠 席日 数	遅 刻・ 早退回 数	早 退 理 由 刻	出席 必要日 数	欠 席日 数	遅 刻・ 早退回 数	早 退 理 由 刻	出席 必要日 数	欠 席日 数	遅 刻・ 早退回 数	早 退 理 由 刻
並木利彦	18				35	1		(A)	10			
高橋政喜	18				34	2		(A)(C)	10			
高橋五輪夫	18				39		1	(E)一時退席	16			
岸野雅人	18				33	1		(E)	16			
角谷勉	18				31	3		(C)(E)(E)	6		1	遅(B)
白井孝雄	18				36	3		(A)(A)(E)	16			
関忠夫	18	3		(B)	20	1		(B)	9	1		(B)
宮田眞理子	18				17	1	1	欠(A)遅(E)	16			
田村計久	18				21				16			
佐藤守正	18		1	(A)一時退席	18	1	1	(A)遅(A)	16			
師田保	18		1	早(A)	22	1	1	欠(A)早(A)	10			
南雲正	18											

※欠席・遅刻・早退の記載方法：欠(欠席)、遅(遅刻)、早(早退)と表示。

理由の記載方法：(A)病気等(自身、家族を含む)、(B)冠婚葬祭(出席案内をもらった場合も含む)、(C)議員としての公務等出張、(D)事故等、(E)自己都合と○A～○Eで表示。

議会活動日誌

15日	7日	6日	2日	2月1日	31日	30日	26日	25日	22日	18日	16日	11日	10日	9日	9日	8日	1月5日	
外国人労働者受入勉強会(白馬村)産業建設常任委員会視察(妙高市及び清算会)	南魚沼市地域土地開発公社 監査総務文教常任委員会	第2回議員全員協議会(新潟市)	新潟春節祭シリーズイベント前夜会及び新年会	湯沢つちたる観光協議会情報交換会第1回議員全員協議会	湯沢高原ロープウェイ運営委員会議会広報常任委員会	湯沢町新春賀詞交歓会議会広報常任委員会	湯沢町消防新年祝賀会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会	湯沢町新春賀詞交歓会



閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

委員長 岸野雅人

2月6日(火)

- 平成30年度総合戦略事業の方向性
新幹線補助金の見直し、空き家対策、等の説明。
- 機構改革(部長制度3年経過)
苦情は少なくなったが、情報共有は徹底する。
- 湯沢学園の現状と平成30年度の体制
4月入園は175人(余裕あり)。
小中学校教員はタイムカード導入。
- その他
塩沢信組より包括連携協定の話あり。

生活福祉常任委員会

委員長 宮田眞理子

1月25日(木)

- 介護保険
湯沢町老人福祉計画、第7期介護保険事業計画の説明。
- 障害者福祉
「湯沢町障害者計画」作成は平成30年～35年までの期間とする。
湯沢町には実習の受け入れ先がなく苦慮している。対策が急がれる。

産業建設常任委員会

委員長 田村計久

2月20日(火)

- シルバー人材センター湯沢事務所
・所長他2名体制
・理事3名
・会員登録数98名
やすらぎ荘から桑町会館に移転。

産 業 建 設 常 任 委 員 会

- シッパネ条例施行3年目
条例施行3年目の対応として資材品の配布、ホームページ活用等で町民への普及、啓発を行う。
- 新ごみ処理施設建設
国際大学の所有する自然公園の一部に建設予定。
周辺地域、希望団体等に説明会を予定している。
- 地域おこし協力隊の活動状況
湯沢町観光協会、雪国観光圏、滝の又農産に各1名計3名が着任している。
- 観光客入込状況
スキー場入込は11月は良かったが対前年比12月90.9%、1月89.2%と厳しい状況。
- 道路除雪(県道、町道)
12月の除雪が多く1月の気温が非常に低い、除排雪費電気料とも増。消雪施設修繕料も多額になっている。



16日 ロッテアライリゾート、
魚沼地域特別養護老人ホーム組合
議会

17日 山形県寒河江市議会行政視察対応
十日町雪まつり雪上カーニバル、
歓迎レセプション

20日 産業建設常任委員会

21日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合
監査

22日 新潟県町村議会議長会第69回定例会
(新潟市)

24日 新潟県後期高齢者医療広域連合議
会代表者会議(新潟市)

25日 魚沼地区郵便局長会総会及び魚沼
地区なでしこの会総会

28日 南魚沼地域広域計画協議会
湯沢町建築工業組合総会懇親会
議会運営委員会

3月2日 湯沢中学校卒業式
議会広報常任委員会

3日 第22回「越後湯沢全国重画展」表
形式及び交流会

5日 浦佐昆沙門堂「押合大祭」参拝重
要無形民俗文化財指定予定

5日 議員勉強会

6日 第1回定例会

22日 第3回議員全員協議会

23日 湯沢小学校卒業式

28日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合
監査

町政を問う

角谷 勉 15
 公約を町民に公表せよ

田村 計久 16
 児童館建設について

高橋 五輪夫 17
 新たな副町長には何を期待し人選したのか

並木 利彦 18
 観光施設等の建設は、町観でDMOのような考え方で
 計画の検討を！

岸野 雅人 19
 修学旅行の実態から、布場ゲレンデは存続を

高橋 政喜 20
 児童美術館建設場所はどこか

佐藤 守正 21
 国保における弱者救済制度の周知を

関 忠夫 22
 湯沢町共同浴場事業計画、今後の対応について

南雲 正 23
 県の民泊制限条例に対する町の意見書に、
 なぜ地域や関係者の声が反映されないのか



Q 公約を町民に公表せよ

角 谷 勉



& A

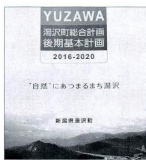
総合計画・総合戦略が公約

質問 昨年9月、公約は13年8か月の経験を活かして新たな政策を皆様方に示す」と回答したが12月には公表しないとした。

町のホームページには4年前の「開花八策」とその事業工程表が掲載されている。

町民が求めているのは、4年前に町民にうたった公約の何が実現できて何ができなかったのか、また現在の課題を明確にするともに次の4年間で何をやるかだと思う。公約を町民に公表すべきと考えるが。

答弁 総合計画、総合戦略で示してある。1期目の継続である。



Q 外国人観光客向けに多言語対応の強化を

A 先進地を参考に取組む

質問 外国人観光客を積極的に誘致するならば、快適に滞在できるように多言語対応の強化を図るべきではないか。

国は名称・案内・誘導・位置の多言語表記を、町が主体で関係者間で統一することを求めている。

先進地を参考に取組むべきではないか。

答弁 今までも取り組んできたが、先進地を参考に取組む。

質問 外国人旅行者が事故や病気・火災や災害等の非常時には、多言語対応が重要と考える。

他市町村では市内在住の外国人が宿泊施設や病院等との間に入り、電話通訳やサポーターを派遣する制度を導入している。

サポーターの主旨や情報を医療機関や警察、消防等と共有し、迅速性を確保するように取組んでいる。

町内の事業者からも多言語対応の環境整備の声を聞く。多言語対応サポーター制度に取り組むべきではないか。

答弁 先進地を参考に検討する。

質問 有望市場と位置付けるインドネシアからの年次誘客目標数はいかに。

先進地ではムスリム旅行者（イスラム教徒）が宗教的・文化的な習慣に不便を感じる点がないよう、受入れ環境整備で様々なツールを作成している。

- ①ムスリム旅行者向け料理ノウハウ集
- ②従業員用の受け入れの心得

③料理の原材料の注意を示す絵文字

④飲食店や宿泊施設等の歓迎のムスリムウエルカムシール

⑤安心して食事ができる飲食店や礼拝可能な施設などを掲載したパンフレット

答弁 誘客目標数は立てていない。勉強会を行ってきたが、先進地を参考に取組む。



ムスリムのおもてなし

Q 童画館建設について

&

田村 計久



A 任期中の完成を目指す



質問 町長は任期中に童画館を建設すると発言したが、童画館建設はこの自治体でも運営経費で負担が大き

く町民の理解を得るのに苦慮している。民間活力の参加など複合的な施設の建設で観光町民の憩いの広場として運営したらどうか。

また維持費、経常経費、考え決断すると発言してきたが根拠と裏付けは何か。任期中の完成とはどのように進めるのか。

答弁 今年度中に方向を示すと発言してきた。童画館の街湯沢、重画による新たな魅力づくりを進めるために、

任期中の完成を目指し30年度中に町としての考えをまとめスケジュールを検討する。建設には基金をベースに補助金、交付金制度など利用できないか調べる。

指摘のように箱物建設には多くの課題があるので、資料館の併設や湯沢駅の東口活性化委員会の提案を参考に十分協議し進める。

Q 湯沢駅東地区の今後について

質問 湯沢の表玄関である湯沢駅周辺は町民から要望もある駐車場問題、空き店舗問題、駅構内の利用の在り方と消費パイプの老朽化、主

水公園と小学校跡地の利用など多くの問題がある。将来を見越した表玄関に相応しい湯沢駅の姿と地域の活性化、課題解決のために湯沢駅、東地

区再開発を計画すべきと思うが町長の考えは。

答弁 東口の駅通りの空き店舗についてはオールユース会議からチャレンジショップの提案もあり、商工

会が中央商店街の活性化のため検討に取り組むので支援したい。駅構内はこれまで歩道の改修、トイレの改修、中央

Q 湯沢高原の運営について

質問 昨年の湯沢高原運営再契約に際し、今後の運営について議会と協議するとしたが1年経過しても話がな

い。契約に際し議員から多くの異論が出された。町民からもいろんな指摘があったこと、次回契約に向け時間をかけた議論が必要と思うが。

答弁 町有施設の堅実な運営と安全安心の確保という観点から、湯沢高原(株)日本ケール(株)に貸付けることは

今でも変わらない。20万人の入り込みと、5億5千万円の売り上げで経営手腕を評価している。議会はいろんな意見があるが特別委員会を設置して調査、議論をしてもらいたい。



越後湯沢駅 東口駅前



Q 新たな副町長には 何を期待し人選したのか

高橋 五輪夫



A 社会基盤整備と 役場組織の活性化のため

Q DMO認定の(一社)雪国 観光圏についての認識は

質問

2022年には日本人
国内宿泊旅行者と訪日
外国人旅行者数がほぼ同数に
なり、それ以降は訪日外国人
旅行者の数が増えるという推
計が示されている。

国はDMO登録を受けた法
人に対して今後重点的に支援
をしていくというところである
が、地域連携DMO登録を新
潟県では唯一受けている(一
社)雪国観光圏の重要性が増
してくると考えられるが見解
は。

答弁

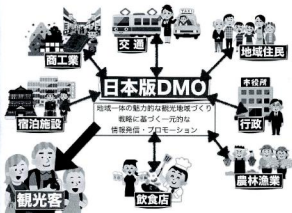
事務局体制と財源に不
安があるのが実情だと
認識している。外国人旅行客
の誘客や観光産業の人材育成
など、広域でやったほうが良
いと思われる事業は依頼して
いくべきと考え、今後は町
観光協会との住み分け明確に
する必要性を感じている。

Q

西口駅前ロータ
リーの再開発計画
の進捗状況は

答弁

若干の修正があったが
平成30年度に施工を進
めていく。



※ DMOとは観光地域を経営する組織のこと

地域の「稼ぐ力」を引き出し、観光地づくりを実現する
ための戦略を策定する法人で、観光地域経営組織とも呼ばれ
ています。このDMOが今、地方活性化の一つの手段として
注目されています。

◆ DMOと観光協会は何が違うの？

DMO＝地域全体で販売促進のための宣伝(プロモーション)
・販売する仕組みをつくる(マーケティング)をする組織
です。なんとなくこれまでの観光協会と似ていますが□に
観光協会といっても、行政から補助と事業を委任されている
観光協会から(湯沢町観光協会)自前の事業(花火大会やリフト
券・イベントのチケット販売など)で稼いで年間の予算の
一部を稼いでいる観光協会などがあります。(湯沢温泉観光協
会や岩原観光協会、苗場観光協会など)

◆ DMOと観光協会の違いとされているのは、

- ①行政区域に制約されない動きをすること。
- ②行政のように公平性に縛られず、成果を上げるために動くこと。

Q 観光施設等の建設は、町観でDMOのような考え方で計画の検討を!

&

並木利彦



A DMOの観光地域マーケティング・マネジメントとして考えていく

質問 湯沢町観光協会において、将来的にDMOの立上げや、DMOの考え方を取入れた事業展開を行う考えはあるか。

Q 湯沢町観光協会においてのDMO的な考え方



ノリタ光学跡地

質問 ノリタ光学跡地の、時代にあった利用計画は、誘致企業の優遇措置を検討。市場調査を実施する。

質問 雪国観光圏の取組みに対して、湯沢町以外の構成市町村からは、非常に大きな期待が寄せられている。一方、湯沢町内では観光圏に

対する認知度がなかなか向上していかないように思える。町長の見解は。

答弁 なかなか理解されませんが、時間をかけて認知度を高めていかなければならない。

答弁 組織体制や合理化を検討していかなければならない。DMOの考え方はすくなくとも取入れるべき。

Q 童画美術館建設について

質問 12月議会での一般質問の答弁で童画美術館の建設が示された。湯沢町にとっての重要課題であり、所信表明の中で町民に示すべきものであったと思うが、町長の真意は。

答弁 具体的なことが決まっていなかったため、所信表明には、入れなかった。2期目の町政運営にあたり、任期中4年間の短期的な計画の中で、童画美術館の建設はまちづくりにおいてどのように位置付けられているのか。

質問 童画美術館は手段であり、建設には目的があるものと思います。「誰のために」「何のために」「どのよう」に「どのお金を使って」建設するのかわかりやすく頂きたい。

たい。

答弁 「誰のために」→町民のため、町のため「何のために」→歴史文化を活かしたまちづくり。童画の町づくり。「どのよう」に→30年度に町としての考えをまとめる。「どのお金を使って」→美術館建設基金を使用して。

質問 「誰のために」を明確にしないと予算、売上費用対効果を想定できないが、町民や訪れて頂いた方々のために建設する。

答弁 任期中4年間の短期的な計画の答弁は一切無し。



川上四郎記念 全国童画展



Q 修学旅行の実態から、 布場ゲレンデは存続を &

岸 野 雅 人



A 個人的には…。来年3月末で 閉鎖。今後の布場は…。



布場ゲレンデ 1月18日

● 修学旅行のゲレンデ使用率平均値 ※「一度は高原へ」要望あり

	1日目	2日目	3日目	4日目
湯沢高原	16.5%	47.3%*	57.3%*	70.5%*
ファミリー	55.7%	26.9%	23.7%	12.7%
布 場	27.9%	25.8%	19.0%	16.8%
	25団体3,494人	20団体2,896人	11団体1,346人	1団体146人

質問 布場ゲレンデへの評価はどうか。布場ゲレンデを閉鎖し、冬の修学旅行上を減らすことが最善とは思えない。

答弁 布場は下山コースとして利用。修学は布場以外のスキー場利用で。布場の収支状況は悪い。町の負担は大きい。

Q 修学旅行調査結果から 「布場ゲレンデは重要」

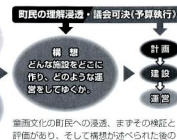
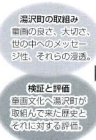
答弁 個人的には運営できれば…。布場ゲレンデは来年3月末で閉鎖する。今後の布場については、地域の皆さんと考えていきたい。

現在の混乱は、調査や手続きもあるが、町長発言が。要領良過ぎた。からではないか。町長は、どの立場の人が聞いても誤解が生まれないよう、ハッキリと説明をすべきだ。

質問 布場存続の要因は▼下山コース▼雪崩防止▼新幹線からの景観と発祥のたいまつ滑降▼小説雪国▼湯沢スキー史(伝来の地・幻のオリンピック選手)▼民間営業▼駐車場問題などなど。これらを総合的に考慮した費用対効果であるなら、私には閉鎖の理由が分らない。

質問 町財産の運営が、周辺の各業種に寄与している。布場の閉鎖は地域経済を縮小させる。

答弁 布場閉鎖でスキー客は減らない。地域経済は縮小しない。近隣スキー場の利用を。



答弁 二居の施設は。壁画館建設まではそのまゝ。

質問 今年度、考えをまとめる

Q 町長表明の「壁画美術館建設」は、まず構想を明らかに

Q 童画美術館建設場所は どこか

&

高橋 政喜



A 平成30年度に町として 考えをまとめる



越後湯沢駅舎内（東口）

答弁 段階的に進める必要があり、現在は提出して

質問 JR東日本に正式要請書は提出されたか。

答弁 予算などの件もあり、本社案件になるので提出資料を本社に届け、協議内容は後日の連絡となる。

質問 JR東日本に正式要請書は進んでいるか。

答弁 予算などの件もあり、本社案件になるので提出資料を本社に届け、協議内容は後日の連絡となる。

質問 東口エレベーター設置は町長も強く望んでいる。JR東日本に要望を通すための理由づけと、データー整理は進んでいるか。

質問 東口エレベーター設置は町長も強く望んでいる。JR東日本に要望を通すための理由づけと、データー整理は進んでいるか。

Q 東口エレベーター設置要請は

答弁 JR東日本に正式要請書は提出されたか。

答弁 段階的に進める必要があり、現在は提出して

質問 JR東日本に正式要請書は提出されたか。

答弁 予算などの件もあり、本社案件になるので提出資料を本社に届け、協議内容は後日の連絡となる。

質問 JR東日本に正式要請書は進んでいるか。

答弁 予算などの件もあり、本社案件になるので提出資料を本社に届け、協議内容は後日の連絡となる。

質問 童画美術館は任期中に建設する。建設される場所はどこを予定しているのか。

答弁 現在のところ場所は考えていない。

質問 童画美術館は任期中に建設する。建設される場所はどこを予定しているのか。

答弁 現在のところ場所は考えていない。

Q 童画美術館建設について

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と



排水トンネル

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

Q 大源太湖堰堤工事終了後の排水トンネル活用は

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と

質問 排水トンネル活用について伺う。今後どのような活用ができるか検討したい、このことであるがトンネル活用の実現に向けて砂防への交渉を願う。

答弁 30年11月砂防主導で検討会を立ち上げ、関係者と



Q 国保における弱者救済制度の周知を

佐藤 守正



A 保険証の更新の際に説明文書と同封する

Q

二つの救済制度の存在を町民に知らせてほしい

質問

「国保税条例25条」で定められている国保税の減免制度と、「国保の一部負担金の減免等に関する取り扱い要項」で定められている医療機関の窓口一部負担金の減免制度、この二つの制度は申し出があつて初めて適用される制度であるが、町民はこの制度の存在を知らずにいるためにか、ほとんど利用されていない。

前者は失業や病氣・事業の失敗などで急に所得が減った時の救済措置、後者は病院などの窓口での支払いが怖くて医者にかかるのを我慢するといふことがないようにと設けられた制度である。

昨年9月議会での一般質問でこの制度を広く知らしめることを要求し、町長もそれに応じたと思つてしたが、3月になつてもいまだに為されて

なぜなのか。

答弁

この二つの制度に関する広報については、制度の広域化に伴う事務の取り扱いの確定に時間を要し、周知が遅くなつてしまつたことをお詫びする。

今後、保険証の更新の際に減免制度を記したチラシを同封し、国保会員の町民に直接知らせる予定になつてい

Q

家族が増えたら保険料が上がる？

質問

国保以外の健康保険制度である協会健康も組合健康も、保険料の額はその人の所得の額によって決められており、家族が増えたら保険料が上がるといふことはない。

ただ国保税だけは子どもが一人増えると、所得に関わらず3万7,800円増額されるという子育て支援に真っ向から反する税になつてい

答弁

子ども3人目からはこの部分を無料にするということではできないか。

第3子以降の保険料を無料にすれば、その分を他の被保険者に負担して頂くか、一般会計からの繰入れの増額につながることに。来年度以降、県も保険者になり全県統一の制度のなる中で、湯沢町だけがそれを行なうことは難しい。

平成30年4月からの国保に加入しているみなさまへ

国保制度が変わります

現在、国民健康保険（国保）は市町村がそれぞれ運営していますが、平成30年4月からは県も市町村と一緒に運営していきます。これにより、定型的に国保制度を運営することが可能になります。

平成30年4月からのイメージ

国保に加入するイメージ

加入者への影響は？

変わる点

- 高所得者の多額負担が県単位で適算され、負担が軽減されます。
（詳しくは国保に申し込んでください）

変わらない点

- 医療機関の窓口方
医療費は、これまでと同様に医療費負担することによって減額することができます。
- 屋中や申請の窓口・保険料（税）の納付先
加入、届出などの各種申請は市町村の国民健康保険課、保険料の納付は市町村の国民健康保険課で行うことが可能です。このほか市町村の国民健康保険課に問い合わせることができます。

新潟県・市町村国民健康保険
新潟県国民健康保険協会 新潟県国民健康保険協会事務局

Q 湯沢町共同浴場事業計画、 今後の対応について

&

関 忠 夫



A 修理、修繕も定期的に進めている



宿場の湯(国道17号線・二居大橋より)

答弁 経費の節減を考え、抜本的な改革をしていきたい。地元と話し合いをして利用率を上げ、食堂の営業再開を目指したい。

Q

「宿場の湯」の食堂・展示室の
運営方法について

質問 宿場の湯は多くの問題を抱えている。抜本的な対策が必要だと思えます。町長はどのような対策を考えているか伺います。

答弁 経費の節減を考え、抜本的な改革をしていきたい。

Q

施設の現状に対する
認識について

質問 各共同浴場の施設については浴場内の木部の老朽化が進行している。ボイラー等の機械、設備も20年以上経過している。大規模な修繕が必要な時期に来ている。リニューアルなど施設の改修

答弁 計画的に交換や修繕を実施している。実態調査をしていく中でリニューアルも考えていく。

が急務となります。早急に対応する事が重要である。町長に今後の対応について伺う。

Q

土樽自然公園の
活用方法について伺う



土樽自然公園の活用方法を

質問 まちの将来像10年後に目指す姿「自然にあつまるまち湯沢」

土樽自然公園は自然に集まるまち湯沢に最も適した公園であると思います。現状はあまり活用されていない、今後、新たな観光地として活用していくにはどのように考えて活用するか伺う。

答弁 近隣住民の公園として設置した。良い所なので多くの方から利用していただくようにPRしていく。



Q 県の民泊制限条例に対する町の意見書に、なぜ地域や関係者の声が反映されないのか

南 雲 正



A 県条例は町の要望を踏まえた中で作成されたものと理解している

質問

住宅宿泊事業法の施行に、国では地域の実情に精通した市町村から意見を聴取し、配慮することを付帯決議している。

これを受けて、条例で独自の制限をすることができると、都道府県をはじめとする、144自治体のうち、3割を超える49自治体が民泊を規制する方針を示している。

町と議会は、宿泊産業を基盤とする観光の町として、既存の宿泊施設で充分対応できること、リゾートマンションの民泊化によって観光産業の基盤が根底から崩壊することを懸念して、県知事に対し湯沢町の全域を施行制限区域とすることを求める要望を行い、湯沢町観光協会や700人を超える関係者の署名により、新潟県条例での制限を求めるパブリックコメントが

提出されている。県のガイドラインに異議を申し立てることもなく、地域や関係者の意見を反映することなく提出された湯沢町の意見書はどのような理由によるものか。

答弁

住宅宿泊事業の制限は国のガイドラインに示された通り手続きが取られ、県条例も県内地域、関係者からの要望を踏まえた中で作成されたものと理解している。一連の対応に手抜きがあったとは考えていない。



県に提出した要望書

鳥羽伏見の戦いを発端に始まった戊辰戦争から150年、戊辰戦争の越後の戦いは、三国峠から始まり、浅貝、二居の宿場は会津藩が退散の際、全戸を焼き払い、その後県内のいたるところで戦いが繰り返された。

越後戦争の始まりの地として、150年前の地域の歴史を次世代に繋げていくための展示イベントの開催と併せて、大正7年に発生した三俣大雪崩は世界でも類を見ない大惨事を引き起こし、今年で100年目を迎えることから、奇蹟を受ける県指定文化財「池田家の活用スタート」の事業として戊辰戦争150年、三俣大雪崩100年の記憶展イベント等の開催を提案する。

A 脇本陣池田家の活用を含め、検討を進める

答弁

地域と相談をしながら、どういうものができるか検討し決めたい。



三国峠 権現堂

Q 県指定文化財脇本陣池田家で戊辰戦争150年、三俣大雪崩100年の記憶展等のイベント開催を

退任の挨拶

前副町長 半澤 誠治



任期中は多くの皆様からご支援・ご協力を頂きましたこと、心から感謝を申し上げます。この4年の間、教育のシンボルである湯沢学園が完成し、町制施行60周年記念事業が執り行われるなど、元気な湯沢町が内外にアピールされました。

今後とも行政と議会が歩調を合わせ、子どもたちに誇れる未来に続く町づくりに取り組んでくれることを願っています。

最後に、町民の皆様のご健勝をご祈念申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

ご意見をお寄せください

湯沢町議会は、みなさまからのご意見・ご提案をお待ちしております。

お寄せいただいたご意見は、今後の議会だよりづくりの参考にさせていただきます。

宛先 湯沢町議会議務局

郵送 〒949-6192 湯沢町大字神立300番地

FAX 025-784-3510

Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

f http://www.facebook.com/yuzawamachi.gikai/

- ご意見は300字程度にまとめてお送りください。
- ご住所、氏名(実名)、年齢、性別、電話番号を明記してください。
- お寄せいただいたご意見・個人情報は議会内で厳重に管理し、目的以外での使用は致しません。
- ご意見の内容にかかわらず個々の回答は控えさせていただきます。

本議会の内容を確認できます

本会議の内容をインターネットとラジオで確認できます。



インターネットにより本会議の動画配信を行っています。

- 1 湯沢町ホームページから
- 2 町議会情報を選択
- 3 議会インターネット映像配信を選択
- 4 目次から、日付を選択してください。

※スマホから動画を見られない方は、Chromeをご使用ください。



一般質問は、FMゆきぐにによる音声配信をしています。

- f フェイスブックにより議会の活動報告を行っています。インターネット回線を使い、会員登録することで議会での動きが何時でも確認できます。

編集後記

3月議会が終わりました。一般会計当初予算は、2年続けて修正動議の可決です。

これをどう見るかは、皆様次第です。そのためにも論点がより分りやすくなるよう工夫したいところですが、総ページ数の都合もあり、中々思うに任せません。

また以前は「議会に一言」あの質問はどうなった「この人に会いました」など、町民つながる企画もありました。

本紙発行経費を削減しつつ内容の充実を図るには、議員水準と編集能力の向上は勿論ですが、一般質問掲載を(一人半頁)にするのが有効と考えています。雪国の春、真つただ中、お健やかに過ごされますよう、お祈り申し上げます。

編集委員 岸野雅人

議会広報運営委員会

委員長 高橋五輪夫

副委員長 並木利彦

委員 白井孝雄

委員 角谷勉

委員 岸野雅人

委員 高橋政喜